

# 「現代の国語」でどのように小説を扱うか

数研出版の「現代の国語」の教科書は、さまざまな文章や資料を用いて「現代の国語」の資質・能力を育成できるよう編集しています。二〇二六年から使用される教科書では、評論・実用文のほか、小説を掲載したものも発行します。

## 「現代の国語」で小説を扱う利点

「現代の国語」で小説作品を使用することの利点は二点あります。

一つは、実社会・実生活との関わりを重視する「現代の国語」において、社会や人間の現実

をさまざまな切り口で表現する小説は、実社会・実生活で起こうる事柄の具体例となると

いう点です。批判的意見が想定されるようなものも含めて、フィクションであるからこそ、多様な話題を教室で扱いやすく、学習の可能性が広がるという面もあります。

もう一つは、小説が許容する解釈の多様性です。自分の考えを明確に言語化する力を育成するには、多様な意見を出し合い、理解し合う場が必要です。ただ一つの答えを求めるのではなく、多様な解釈を許容するフィクションは、生

徒さんに思考のきっかけを与え、相互交流を促しやすく、他者に向けて自分の考えを述べる活動の素材として適していると考えています。

## 「現代の国語」「言語文化」それぞれの配当時数と小説の扱い方

小説作品を使用する場合には、学習指導要領で定められている、必修科目の「現代の国語」と「言語文化」の配当時数と小説の扱い方を踏まえる必要があります。

### ●現代の国語

「現代の国語」は「実社会に必要な国語の知識や技能を身に付ける」ことなどを目標とした二単位の必修科目で、「内容の取扱い」に示された各領域における配当時数の目安は次の通りです。

話すこと・聞くこと	20～30単位時間
書くこと	30～40単位時間
読むこと	10～20単位時間

「読むこと」の教材は「古典及び近代以降の文章」とされており、「古典」に40～45単位時間、「近代以降の文章」に20単位時間を配当することとされています。

「言語文化」では、小説を含む近代以降の文章に20単位時間を配当することとなっています。

くこと」「書くこと」の教材には規定はありません。「話すこと・聞くこと」「書くこと」の領域で小説を扱うことは可能ですが、「話すこと・聞くこと」「書くこと」の資質・能力を育成できる素材であることが求められます。

### ●言語文化

「言語文化」は「我が国の言語文化に対する理解を深める」ことなどを目標とした二単位の必修科目で、「内容の取扱い」に示された各領域における配当時数の目安は次の通りです。

話すこと・聞くこと	—
書くこと	5～10 単位時間
読むこと	古典 40～45 単位時間 近代以降 20 単位時間

「読むこと」の教材は「古典及び近代以降の文章」とされており、「古典」に40～45単位時間、「近代以降の文章」に20単位時間を配当することとされています。

「言語文化」では、小説を含む近代以降の文章に20単位時間を配当することとなっていますので、この時間に従来の小説読解指導を行なうこ

とができます。

一方、「現代の国語」では「話すこと・聞くこと」「書くこと」の配当時数が多いため、評論や実用文だけではなく、小説を用いた表現活動を設定することで、バラエティ豊かな素材を用いて「話すこと・聞くこと」「書くこと」の指導を行うことができます。

## 二〇二六年度用 数研出版の「現代の国語」

弊社は二〇二六年度用の「現代の国語」の教科書を四点発行します。

### 【改訂版 現代の国語】

### 【増補新版 現代の国語】

### 【改訂版 高等学校 現代の国語】

### 【改訂版 新編 現代の国語】

このうち、『増補新版 現代の国語』『改訂版 高等学校 現代の国語』『改訂版 新編 現代の国語』の三点の教科書には、小説作品を収録しています。各教科書での小説と関連する教材と小説作品の扱い方は次の通りです。／以下が関連小説を示します。

／夏目漱石「夢十夜（第一夜）」  
(対応領域) 書くこと

／芥川龍之介「羅生門」  
(対応領域) 書くこと

／宮下奈都「スライダーズ・ミックス」  
(対応領域) 話すこと・聞くこと

／青山美智子「カンガルーが待ってる」  
(対応領域) 書くこと

### 【ドミニク・チェン「無意識を滋養する術】

／夏目漱石「夢十夜（第一夜）」  
(対応領域) 書くこと

／芥川龍之介「羅生門」  
(対応領域) 書くこと

／青山美智子「カンガルーが待ってる」  
(対応領域) 書くこと

＊「無意識を滋養する術」は、「夢」に関するさ

まざまな文学作品をとりあげながら、夢を表現するという行為について述べた評論です。『夢十夜』の批評を通して、批評文の特徴について理解することができます。

■半沢幹一「『羅生門』の最後の一文」  
／芥川龍之介「羅生門」  
(対応領域) 書くこと

／芥川龍之介「羅生門」  
(対応領域) 書くこと

／谷崎潤一郎「実用的な文章と芸術的な文章」  
／志賀直哉「城の崎にて」  
(対応領域) 書くこと

■谷崎潤一郎「実用的な文章と芸術的な文章」  
／志賀直哉「城の崎にて」  
(対応領域) 書くこと

＊「城の崎にて」は、数研出版の『改訂版 言語文化』にも収録しています。『増補新版 現代の国語』では、「城の崎にて」の文体について述べた谷崎潤一郎の文章を踏まえて、わかりやすい文章の書き方について理解を深められます。

### ■立場や考え方を明確にして話し合う

／夏目漱石「夢十夜（第一夜）」  
(対応領域) 話すこと・聞くこと

／谷崎潤一郎「実用的な文章と芸術的な文章」  
／志賀直哉「城の崎にて」  
(対応領域) 書くこと

＊「夢十夜（第一夜）」の魅力を伝える方法を検討する活動を設定しています。自分の考え方を根拠とともに述べる力を養うことができます。

### ■広告「コピーを書く

／谷崎潤一郎「実用的な文章と芸術的な文章」  
／志賀直哉「城の崎にて」  
(対応領域) 書くこと

＊「カンガルーが待ってる」は、オーストラリア人の「僕」と日本人の「マスター」との会話から、人の縁の不思議さとつながる喜びを感じられる作品です。作品を特徴付ける言葉を検討しながら読み、広告のキャッチコピーやボディコピーを作る活動ができます。

います。